

かや たかゆきの ほうれんそつ

愛川町議会議員

第8号



議会の報告

後援会の連絡

皆さんからの相談

だれもが働きたいと思う愛川町役場へ！

愛川町役場の職員さんは町を動かす原動力です。町の事う想う職員さんや、町を愛する職員さんを増やしたり、育てるためにも、職場の環境を整えてあげる事が「まちづくり」に繋がり「町民サービス」の向上となります。

職場環境を整えよう！

・有給・育休の取りやすさ

現在は、有給休暇の取得率が低い環境であり、部課長級は特に低いです。そうすると、身体への負担や部課長になりたいと思う職員の減少、仕事に対してのモチベーション低下となるので、取得率の向上と有給の買上げなどを行うべきと提言しました。

・残業の考え方と改善について

残業が多い課と少ない課では約500時間もの差があります。残業が多い課は自分の時間を削ることになり、職員の不平不満を生みます。残業が多い課には職員の配置を最優先する等の提言をしました。

・エアコンや暖房のありかた

現在の役場は8:30~17:15までしか冷暖房がついておらず、冬の残業時間は凍えながら仕事をしています。そうすると職員が風邪をひくなどの体調面の心配。寒い環境による仕事の効率低下で、残業時間が増えて残業代が増し、職員にもコストにも悪い環境を改善するように提言しました。

職員のモチベーションUPへ！

・若い職員からの提案の採択

仕事は楽しく出来てこそモチベーションが上がります。若い職員が町の事を考えて新しい事業の企画立案ができる環境を作り、採択して任せてあげることが若い職員を育てることになります。これが未来投資に繋がるので、環境の整備を提言しました。

・職員の評価の透明化

頑張っている職員を正しく評価する事が仕事に対してのモチベーションを上げます。自分がどのように評価されているかを明確化してあげること、しっかりと評価をしてあげる環境を整備することを提言しました。

・職場復帰の考え方

上司や同僚との人間関係や仕事量の莫大さ等で体調を悪くして休養する職員がいます。なので、しっかりと身体を治し、職場に復帰しやすい雰囲気づくりが必要となります。皆が思いやりを持った雰囲気を作り、部署の異動などの気配り・心配りが出来る環境を整備するように提言しました。

民間委託で職員の負担軽減へ！

・民間委託による人件費の削減

役場の窓口業務や各施設など、民間に委託できる所は積極的に民間委託を行うべきと提言しました。この事によりコストが削減できたら、その削減費用で忙しい部署の職員を増やしてあげて職員の負担を軽減してあげるように提言しました。

誰もが働きやすい環境を作れば求職者が増えたり離職者が減り、人材に恵まれた環境となります。この事が職員のボトムアップに繋がり、町民サービスの向上となります。

笑顔溢れる愛川町役場にすることが笑顔溢れる愛川町になると思います。



広報広聴常任委員会・議会改革推進特別委員会の二つの委員会の副委員長に就任しました！

愛川町議会では1期4年の半分である2年ごとに、議長をはじめとする委員長などの役職が変わります。この度、かや たかゆきは広報広聴常任委員会と議会改革推進特別委員会の二つの副委員長に就任しました。愛川町議会をより良くするために改革をすることや、議会の内容や活動を広く発信し、そして町民の皆様の声に耳を傾け、その声を町政に活かしていける委員会にしていきたいと思います。

広報広聴常任委員会の仕事内容

広報広聴常任委員会は、議会の活動内容や報告などを「議会だより」として年4回発行しています。町民の皆さんに町政の内容を知ってもらったり、各議員の一般内容の質問などを掲載しています。その他にも町民の皆さんや団体との意見交換会を行い、町民皆さんの声を町政に反映できる活動も行っています。

議会改革推進特別委員会の仕事内容

議会改革推進特別委員会は、議会をより良く運営するための議会改革をします。現代に合わせたICT化を進めたり、古い考えに捕らわれず、改革する委員会です。



茅 孝之 委員 副委員長

総務建設常任委員会に所属しました

総務建設常任委員会は愛川町役場の中の総務部と建設部をチェックする委員会です。予算や決算を決める時には、議会から総務部と建設部の細部を委員会でチェックするようにと付託される委員会です。

議会運営委員会に所属しました

議会運営委員会では、議会を運営するためのスケジュールを決めたり、陳情・請願などの案件を各委員会に付託したり、議会をスムーズに運営するための委員会です。

かや たかゆきの活動報告 9月～11月



自殺者から命を守るゲートキーパーになる為に神奈川県での講習を受けました。町民の命を守る為に勉強になりました。



中津川の河川敷を綺麗にする日本単独野営協会さんにインタビューし、今後も協力して河川敷の美化に努めていきます。



八菅橋令和の広場推進協議会の草刈り事業を行いました。タウンニュースさんに記事にして頂き、活動の輪を広げています。



半原ワサビまちづくりプロジェクトの活動で半原ワサビの葉などを使った新メニューの開発を行いました。

愛川町を特集する「愛川時間」の初発行

厚木時間や海老名時間、吉祥寺時間などの色々な町を特集し、冊子として発行する日本デジタルワークスさんから「愛川時間」を発行したい!という要望がありました。より多くの町民の皆様に見てもらえるためには、冊子づくりのスペシャリストと行政が手を組んで行くことが必要と思い、私が町長に要望をして、行政と手を組んで発行することが出来ました。公共施設等にも置いてありますので、是非ご覧ください♪

小野澤町長と橋渡し!



多くの町を特集している日本デジタルワークスさんは、様々な町取材の中で、次に新しい町の発行をするなら愛川町がよい!と思って頂きました。そして、日本デジタルワークスさんから連絡頂き、まず「愛川時間」の発行が出来るのか?という所からスタートしました。その中で、町内の企業・商店の事や文化歴史などの話を沢山させて頂き、「これならいける!」と感じて頂き、実際に発行する運びとなりました。そして、実際に発行するのであれば沢山の方々に見てもらいたい想いで、町の公共施設などにも置かせてもらえるように小野澤町長と橋渡しをさせて頂き、町長には快く承諾して頂きました。小野澤町長を始め、沢山の企業や商店のおかげで発行出来ました。ありがとうございました。

一般質問が実現しました

9月議会の一般質問では、自治会加入の促進に向けた質問を行いました。その中で自治会加入ハンドブックを町が作成した事に関して、今後も町が作り続けるよりも、民間企業に委託した方がデザインや面白さ、スポンサー集め等が上手なので、民間移行して行くことが大切という質問をさせて頂きました。今回の愛川時間では、町の情報を発信できるページを設けることが出来ました。そのページに私が一般質問をした「自治会加入促進の情報」を載せて頂くことが出来て、一般質問した提言が実現しました。今後においても町の情報を掲載していきますのでお楽しみにして下さい♪



半原ワサビ特集も!

愛川時間の中には町の歴史や文化に触れる特別コーナーがあります。今回の創刊号では半原ワサビを特集して頂けることになりました。半原ワサビの歴史や説明に始まり、愛川町と包括連携協定を結んでいる神奈川工科大学さんと連携してワサビを育てるのに大切な水の調査研究を行っていることを掲載させて頂きました。そして、今年の1月に結成した「半原ワサビまちづくりプロジェクト」が設立されたことも載せて頂きました。これからも半原ワサビの知名度が上がり、町の活性化に繋がれるように、まちづくりプロジェクトメンバーで力を合わせて全力で頑張ります!



愛川町へ要望中 ~暮らしでお困りならご相談ください~

愛川町の暮らしでお困りな事がありましたら何でもご相談ください!内容をお聞きして、町の担当課とかや たかゆきが話し合い、解決に向けて迅速・全力で取り組んで参ります。

現在の要望

現在、産後うつなどが問題視されています。産後ケアの大切さを町内に発信するために、子育て支援課に産後ケアの事業に対する助成金の交付の要望や産後ケア事業の開催を要望しました。子育て環境を良くするためにも頑張っています。

要望を私までご連絡ください。

かや携帯090-3695-9357



9月議会の一般質問を閲覧頂けます!

9月議会で行った愛川町のボランティア環境を良くする事や自治会加入率向上の3項目の一般質問を録画でご覧頂けます。

冒頭の2分ほど、私が町に対する想いを述べていますので、そこだけでもご覧頂ければ幸いです。全体で1時間あります。QRコードからご覧ください。



編集後記

令和3年はコロナ禍の1年となり、多くの環境が変わってきました。議員活動も制限がかかる中でしたが、この広報紙のほうれんそうを通じて沢山の方々から要望やアドバイスなどの声を頂くことが出来て、本当に嬉しい限りです。これからも多くの皆様から町に対する声を聞いて行きたいと思えます。そして、ほうれんそうのネタの情報もお待ちしています。こんなことを知りたい!とか、こんな面白いよ!等がありましたらご連絡ください。

次号の新聞折込は3月4日金曜日を予定しています。

発行日: 2021年 12月 3日

第8号

討議資料

編集・発行: かや たかゆき 後援会

連絡先: 愛川町中津3552



TEL 090-3695-9357 Fax 046-286-7872 Mail takayuki@8744.co.jp